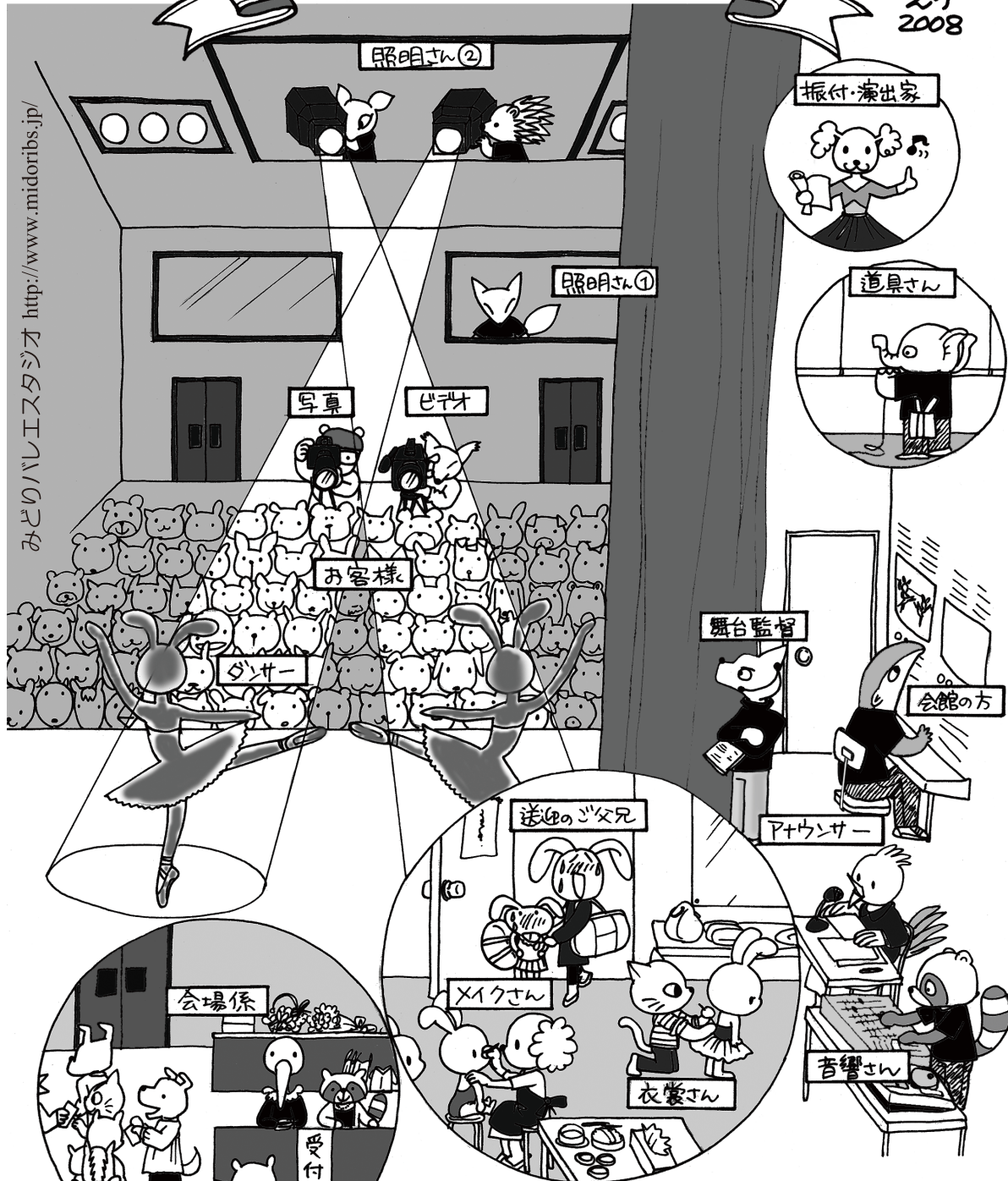


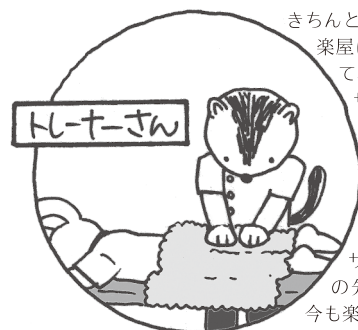
舞台を作る人たち・発表会編

おの
えり
2008

みどりのパレエスタジオ <http://www.midoribs.jp/>



表舞台でえられて初めてこそ舞台がシーンごとの切替を、天井調光室では音響さん：踊りのための音源を製作し、音響デザインを考え、整音して送り出しを行います。ちなみに生音公演こそ音響さんの力なしには成立しません。●道具さん：大道具類を設置して舞台を飾ります。一見地味な仕事ですが、その内容はノウハウのかたまりです。●会館の方：設備や備品の管理、電動昇降装置の操作などを行います。様々な設備を使わせていただけるのも、会館の方々のご理解とご協力があればこそです。●舞台監督：すべての裏方仕事を統括し、スケジュールに合わせて一切の進行を取り仕切ります。どんな舞台もこの人なしにはできません。●メイクさん：出演者に舞台メイクを施します。専門知識を必要とします。●衣裳さん：パレエ衣裳は出番のたびに縫いつけたり、ほどいたりするものもあります。手間のかかる仕事です。●アナウンサー：舞台の進行にはかかせません。●会場係：お客様と直接接してご案内します。●写真とビデオ：舞台を記録し、次へつなげるための資料をつくります。●送迎のご父兄：発表会の場合、小さい出演者のご父兄・お母様方のお力添えなしには成り立ちません。いつもありがとうございます。●ほかにもお弁当の手配、看板屋さんなどに花屋さんなどいろいろ…



きちんとしたパレエ団の場合、舞台袖や楽屋にトレーナーさんが待機していて、公演中に起きる突発的なダンサーの不調に備えています。発表会でトレーナーさんが控えているスタジオはさきわめて珍しいと思いますが、当スタジオではダンサーの身体に特に配慮し、国家資格を持つ鍼灸マッサージ師で陸連認定トレーナーの先生に来ていただいています。今も楽屋にいらっやいますよ。

